



議会新役員構成決まる

5/16開催された5月臨時会で役員の構成が改まりました。

議会の役職は第1会派内で決めた人事提案をもとに調整という民主的とはいいがたい方法です。多様性の反映や適材適所の配置とは違ふと考え、今回は議長に立候補しました。

色々な考えをもった市民の皆さんの期待や要望を汲み取るためには、大勢の議員が活発議論を交わしながら議案審議や調査研究を行い政策提言につなげる力のある議会が必要だと私は思います。

「議会と当局は車の両輪だ」と言いますが、ハンドルを当局側に預け、ただ議会が車輪になっていてはならない。チェック機能を發揮してブレーキをかけたたり、ハンドルを切つて方向転換を促す、場合によっては勢いよくアクセルを踏む必要もあると思います。県内でも、吉田町では共産党議員が議長をつとめています。常任委員長を経験ある共産党議員がつとめるところも普通にあります。当局提案に賛成の人でない議長や正副委員長を務められないというのは誤りだと思えます。

日本共産党議員団

それぞれの専門性を生かし、市民の声を議会に反映させるために2人で精一杯がんばります。



◎勝川志保子 (文教厚生委員)

◎大井正 (環境産業委員会・議会改革特別委員会) 環境資源ギャラリー組合議員

◎勝川志保子 (文教厚生委員) 編集特別委員会) 中東遠総合医療センター企業団議員

岸田首相、ヒロシマを利用するな

G7の終了に際し、元広島市長・平岡敬氏が語った言葉です。



被爆地広島で核の使用を前提にした核抑止論を正当化し、ゼレンスキー大統領を招いて戦争への協力を約束する。

G7で支持率の回復を図った岸田政権。戦争の準備に余念がありません。

被爆者の願いは踏みにじられています。

全員協議会(5/19)報告

消防団の再編

人口減少や地元で仕事していて消防活動に参加できる方が相対的に減る中団員の確保が難しくなっています。現状の803人を3割減らし545人定員という提案。

津波被害なども想定される南部は人口比団員数は北部より加配。持続可能性を探りつつ、市民生活の安心安全が守られるようになくしてはなりません。

再生可能エネルギー条例案

作成中の条例案では「抑制区域」として砂防指定、急傾斜地、土砂災害警戒区域、自然保護地区、農振景観重点地区など13区域を指定しています。一定規模以上の設備設置を届け出制にして住民説明も行なうことや、市が指導、勧告や命令を出すことができる規定もあります。現在のガイドラインをよりしっかりとさせ、推進と規制を行なおうとする姿勢は感じます。実効性のある条例を期待します。(5月末よりパブリックコメントを募集)



海岸線地域ビジョン実施計画

南部は津波や原発災害から命を守る事が安心安全の前提だと思っています。これなくしていくらすてきな絵を描いても人口減少や衰退は止められないと思います。

防災最優先に海岸線で安心してなりわいが、成り立つことが重要です。

地域公共交通計画

基本方針の中間報告

実証実験なども経て、基本方針を策定中です。アンケートでは、市街地のバス運行増を求める声、免許返納者や返納を考えている層の「困っている」の声が多いことが明らかになりました。車に頼っていた地域ではドア・ツー・ドアの施策がないとバスではどうにもならないということです。

交通弱者を守る計画策定を求めます。

静岡県母親大会にオンライン参加

ジェンダー平等の進まない日本は「国力の半分を捨てている」という武井由起子弁護士の講演に“そうだそうだ”とパソコンの前で拍手しました。